

## 灯りをともし

中津市長 奥塚 正典

商店街で多くのライトがいま光を発しています。4千本のペットボトルにLED電球がつけられ、中に中津市の小中学生をはじめ市民の皆さまが書いた手紙が1通ずつ詰められています。手紙は、いつか会えるかもしれない見知らぬ人宛てに書き綴ったものです。会場を訪れた人が手紙を書くと、ボトルの手紙を受け取るかわりに、今度は自分の手紙を入れて、ボトルメールとして次の人へとリレーしていくのです。

名付けて『ムーンリバー』。ニューヨークならず中津の夜のまちに幻想的な光の川が流れ、市民の皆さまの思いが次から次へとまだ見ぬ友達に伝えられていきます。中津の「つなぐ文化」そして「連携の証し」になってほしいという願いを込めています。

見知らぬ未来の友達へ、あなたなら何を書きますか。手紙を読む人が幸せならもっと幸せになるように、落ち込んでいるなら励ましとなって少しでも元気になるようにしたいものです。今からでも書いてみませんか。

夏から中津ではあかりのイベントが目白押し。花火やとうろうに続き、三光のコスモスも3千万本が様々な色の光を放っています。クリスマスのイルミネーションも経済界の皆さんが今年は早めて駅南を賑やかに飾っていただいています。そういえば、中津の自動車メーカー、ダイハツのコマーシャルも「Light you up」ですね。お客さんを明るく元気にするなどの意味を込めているのでしょうか。



中津市少年合唱団  
「ムーンリバー」の合唱

これらが人の心に灯りをともし、明日の中津づくりに力を与えてくれることを願っています。そして灯りの一つひとつが、手紙のリレーと同じように互いの思いをつないで大きな中津力になっていくことを夢見ています。

未来に向けて夢を育む『ムーンリバー』。「ティファニーで朝食を」ならぬ「中津のまちで夕食を」と洒落た宣伝はいかがでしょう。